



2016.8.14 聖母被昇天祭

被造物を大切にすること世界祈禱日

助任司祭 フック神父

昨年2015年に、教皇フランシスコが『パウダー・シ』という新しい回勅を出しました。被造物を保護するため、特に、汚染された環境に置かれているわたしたち兄弟姉妹のことを配慮するためです。それは自然界に対するカトリック教会の基本的な理解でもあります。さらに、教皇さまも毎年9月の最初の主日を「被造物を大切にすること世界祈禱日」として定めました。なぜならば、神様が美しい宇宙万物を創造してくださいました。しかし、人間の手で人間の住まいである地球の環境は悪くなる一方です。聖書の創世記1章28節で出てくる「すべて支配せよ」という言葉の誤解はしばしばです。ここで支配権が人間に与えられました。しかし、ここで言う支配というのは決して主人として被造物を所有物として好きなように扱ったり破壊したりするのではなく、むしろ人間が賢明な管理人としてより地球に相応しい人間の住まいとして調和的に働きかけるわけです。教皇さまは自然界保護を良心的、また倫理的な責任と断言します。他の言葉で言えば、環境破壊の行為は罪悪のほかになりません。時には、環境保護はただ国々の政治家や企業の責任だと思われがちです。実に自然界保護は一人ひとりの生活のあり方に関わっています。回勅で教皇さまが日々の小さな努力を大いに勧めます。例えば、紙、水、電気、ゴミ分別などに気を配り、特に皆で同じ車に乗り、出来る限り、交通機関を使用すべきです。

兄弟姉妹に対して慈しみを示すようによく呼びかけられています。今回、教皇様が慈しみを必要とする対象にもう一つ加えました。それは自然界にいつくしみを示すことです。また環境に配慮しながら生きるというのも預言の生き方の一つです。信仰者のわたしたちにとって環境保護については生活習慣を見直し、罪の赦しを願う前の材料にもなるでしょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

ワールドユースデイ2016 クラクフ大会に参加して

今枝佑紀

私は7月23日から8月6日（A日程は8月1日）に開催されたワールドユースデイ2016クラクフ大会に参加してきました。進学の関係で上京したため東京教区の方々、4月から始まった事前準備会からワールドユースデイを終え帰国するまで共に活動させていただきました。まず初めに、今大会に参加する機会を与えてくださった南山教会の皆様と東京教区の方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。

9月4日にも報告会をさせていただきましたが、初めにワールドユースデイを知らない方もおられると思いますので、簡単に説明させていただきます。ワールドユースデイは教皇ヨハネパウロ二世が1984年に、全世界の青年に「世界青年の日」（「受難の主日」）に集うように呼び掛けたことから始まり、大会は1週間の日程で行われ、2、3年に一度世界

各地の持ち回りで開催されます。大会全体が聖週間をなぞらえており、「世界の若者がひとつになり、教会の本質であるキ



リストの受難と復活を味わうという意味が込められています。そして今大会は、聖ヨハネパウロ二世の出身地であるポーランドのクラクフで開催されました。

私が一番印象的に残っている大会の場面は、16キロの道のり

を徒歩巡礼してたどり着いたつくしみのキャンパスでの出来事です。国籍や人種、言語の壁を越えて約2500万人の青年が「神様」という唯一の存在を求めて集まり、祈りました。神様のパワー、祈りのパワー、青年たちの信仰心の力強さを肌で感じ、感動したのを鮮明に覚えています。

日本の青年や、他国の青年、本当にたくさんの方々が参加したことも大きな収穫でした。日本のカトリック信者には若者が少なく寂しさを感じることもあります。しかし、この大会によって同じ信仰を持つ身近な仲間と出会い、短い期間でも共に助け合って生活できたことは素晴らしい体験であり、神様のお恵みだと思っています。また、他国の青年たちと出会い、自分自身の信仰に対する考えが大きく変わりました。信仰というものが、決して堅苦しいものではなく、ありのままの自分と出会い、人生をより生き生きとさせてくれるものなのだと海外の青年たちから学びました。

大会終了後にはアウシュビッツ収容所にも行かせていただきました。

ました。そこでは、人間の闇の部分に触れなんとも言えない悲しさと、恐怖を味わいました。大会期間中の輝きとは反対の間でしたが、その人間が創り出した悲しみの中にも神様がいてくださることを祈りの中で感じました。

この、様々な出来事と思いが詰まった2週間の旅で感じた一番のことは、その瞬間一つ一つに神様が共にいてくださったという事です。何をしても神様の愛を感じる事が出来ました。最後に、一生に一度の体験



と、素晴らしい仲間を与えてくださりクラフまで私を導いてくださった神様、ポーランドでの生活で日本巡礼団を支えてくださったホストファミリーの方々、ボランティアの方々と、その活動に対して経済的な支援をしてくださった南山教会の皆様、関わってくださったすべての方に感謝し報告を終わります。

ふとんもぜんぶそろってびっくりしました。お風呂に入ったり、(二度ふる)テレビを見たり、ウノやトランプや、おりがみをやりました。それで、11時45分ぐらいにねました。

楽しかった 南山教会学校のキャンプ

四年 成井 実和子

七月二十二日～二十四日の三日で、南山教会の教会学校のキャンプに行ってきました。

初日の七月二十二日は、まず、みたけちようのマリア様のぞうを見に行つて、そこでそのぞうができるまでのお話を聞きました。とても面白かったです。

次に紅岩山そうに行つて、近くにあった自ぜんがたくさんあるコテージにとまりました。

二日目は、えなきようワンダーランドに行つて、ジェットコースターやかんらん車に乗りました。「フアラオのいんせき」というところに入つてみただけ、はじめのほうでこわくなつてとちゆうでやめてしまいました。

四年 アピアアレックスカ

金ようび22日は、みんなではじめてキャンプの家に行ったとき、へやがさむかったからみんなであせをかくまでまくらなげをしていて、ぎやくにあつくありませんでした。土ようび23日は、よばんでかいのが1びきいて中くらののが2ひきで、小さいのが9ひきいてあわせて12匹いました。たいへんで、虫よけスプレーをむしにかけました。ひるには、ジュラシックランドにいつて、いままでおもしろかつ

たのがぐるぐるで、5かいも、のつて、1位はジェットコースターがいつ「ガタンツ」つてくるかわからなかつたです。

四年 パンヴァンヒ フック

七月二十二日、南山教会から平和の聖母のマリア像にいきラジカセの作った時の話を聞き、南山公園で弁当を食べて野球場でエア野球をしました。客の間から野球場にはいつて門にのつたりとびおりに遊びました。

そして紅岩山荘に行きそのコテージでとまりました。夜に

きもだめししかんのん様を見に行きそしてそのあとはコテージでだけけものの子を見てねました。

七月二十三日

えなきようワンダーランドに行きました。まずGOGOスピンカートにのり、パターゴルフし、メリーゴーランドにのり、サファリにのり、ウォーターパレードにのつて昼食を食べました。その後パターゴルフ、バズーカーほうしてかんらん車にのつてスワンボートをパトリックと10分こぎ夕はんを食べねました。

二年 き びんけい

七月二十二日から七月二十四日にきようかい学校のキャンプへ行つてきました。

一日目は夜、みんなはきもだめしにいきました。でもこわかつた人たちは、コテージでおりがみをしてあそびました。とつてもたのしかったです。

二日目はえなきようランドに行きました。そこでは、フックしんぶさまと二人でおぼけやしきにいきました。しんぶさまは、わらつていたけれどわたし



はとつてもこわかったです。そしてお昼ごはんのときオセロをしました。まけちゃったけどいいしよぶでした。

三日目はたじみのしゅうどういんにいきました。きょうかい はふるいけれどきれいでした。そこでおいしいのりをしました。おべんとうはコロッケが一ばんおいしかったです。

六年 榎原 啓希

一日目、マリアさまの像でおいのりをしました。静かな空かんだなと思つたら後ろで何かさわがしい声が聞こえたのでふりむいたら、みんなスズメバチの巣に石なげているではないか！ぼくは、やめるんだハチがおいかけてくるぞといったらみんなすぐにげました。そして紅岩山荘という宿につきました。しかし、この泊まった日おそろしいことが、そう究極の遊びまくらなげという大事件が発生したので一名号泣しました。

大混乱させておそろしい乱とうとなりました。ぼくらは安全な部屋に入りつてぼくらをしようぎのコマにしてしようぎをつかって作戦か いぎをしました。一人アース ジェットを手にぼくはがをしゅうげきしました。しかし、そんな時にアイスを食べている人もいました。

三日目は、みんなね起きが悪く、食事をしました。しかし、ぼくにぜつぼう的ダメージをあえたのは、ミニトマトでした。ぼくらは多治見教会に行きミサをしました。

これでこのキャンプは幕を閉じました。

三年 村井 ひな

わたしは、(7月22日、23日、24日)まで教会学校のキャンプに行きました。行先は、ぎふ県のえな市に行きました。

そこでは、三日間、いろいろな事がありました。中でもわたしが一番心にのこった事を二つかき

一つ目は、一日目にやったきもだめしです。そのきもだめしのルートはリーダーが言うには、ある男の人がさん歩にそこに行くのと、何年も帰ってこなく、写真でそのルートをとると一まい木から

手がうすく出ていたということでした。わたしは、その話を聞いて、さむけがしましたが、行くこと決めていたので行くと、おじぞう様などがチョココンとすわってまっつきました。そこで少し安心したけど、ドキドキなかんじがすすきりきえたのは、ぶじもどつてこれ



た時でした。今ではまた明るい時に行つてみようと思つています。

二つ目は、二日目に行った「えなきょうランド」という所です。そこは、中みは、遊園地です。そこで一番心にのこっているのは、人生はつのバイキングとジェット

コースターです。二つともゆれがはげしくて、サイコーでした。バイキングはマックスになると、はげしくなります。その時、自分がゆれの上にいる時下を見るととてもこわかったです。でも、そのこわさがまた、楽しかったです。ジェットコースターは、下りる時と、少し曲がる時がこわく、おわると一しゆんクラツとしたけどそのはくりよくともうすぐだと思つた。ドキドキがおもしろかったです。

三年 前田 直哉

また、来年も日程が合えば行きたいなと思つています。

マリアさまのところにいきました。次にべにいわさんそうに行きました。その次にごはんをたべてふるにはいりました。ねてるときはるきくんとおにいちゃんとおぼくで夜さわいました。次の日キャンプファイヤーをしました。またあてとしゃてきをやりました。ゆうえんちにいってきました。

ジェットコースターにのつてぐるぐるに5回のとつてバイキングにのつてウオーターパレードにのりました。一ばんたのしかつたのはじるぐるです。上にあがつたりさがつたりするとこころがおもしろかったです。キャンプファイヤー

はいろいろのだしものをだしてみるのがたのしかったです。ゆうえんちはくじびきもたのしかったです。くじびきは3とうと4とうがでました。楽しかったです。いちばんたのしかったのはがをたいじすることでした。またやりたいです。

六年 ヲ ホアイ チヤン

一日目、南山教会から岐阜県に向かって出発しました。とまる予定の紅岩山荘に行く前に平和の聖



母のマリア像に行きました。その地方にかくれキリシタンがいたと

いう遺物が見つかったのを記念して建てたマリア像だそうです。このマリア像を造るとき、奇跡としていいようなことがおこったので、その話を聞きました。話を聞いてお祈りをした後に南山公園へ行って昼食を食べました。食べ終わって公園で少し遊んでから紅岩山荘へ行きました。今年は例年とは違いコテージという一つの建物に皆でとまりました。一つ一つからお風呂に入りました。窓から木曾川と森を見ながら入れました。水をきれいにする効果があるという石が飲み水やお風呂に入っていました。夜は肝試しへ行きました。こわかったので皆で行きました。西尾リーダーは皆の後に一人で行っていました。やる予定だった星観察ができなかったので布団をしいてねました。

五年 アピア パトリック 眞

一日目は、マリア様の像を見に行って、何千万、何億以上の金が必要なのに、それを、マリア様のためならタダで、作ろうと言っていたことに、おどろいてとても、すごいと思いました。

その後、紅岩さんそうに行つて、自由時間に、バトルスピリッツを、しました。二日目は、ワンダーランドに、

行き、パターゴルフをしました。全部やった後に、一番最初の穴に入ると、ホールインワンができました。たっせいかんが、とてもあつてうれしかったです。その後には、女子とかんらん車に、のつて、上からのけしきを見下ろしました。橋がとてもきれいだかったです。サイクルコースターにのつて、一周しました。のり終ると足が、ガクガクしてしまいました。夜、お風呂から出た後に、コテージにもどると、がが大量にいました。みんなで立ちむかっていたのでおもしろかったです。

三年 小川 千帆

わたしは、ワンダーランドで、ジェットコースターと、たからさがしがいち番すきだと思いました。

ジェットコースターは、スピードがはやかったので、さいしょは、びっくりしました。でも、楽しかったので、三回ものりました。

次にたからさがしは、本物のたからがもらえたので、うれしかったです。でも、どれがどれなのかわからなかったです。なので、ふつうの石もとっちゃったので、きれいな石をもうすこし「あつめた」と思いました。わたしは、コテージで、ウノ

や、トランプであそびました。それから、ほかの遊びも知ったし、うまくできるようにルールも、分かったの、とてもうれしかったです。

コテージは、広くて、気持ちよかったです。みんなであそんだりすることがとても楽しかったです。来年も、また、コテージに行きたいなと思いました。来年もお願いします。

六年 バンヴ ニヤットカーン

7月22日 一日目

キリスト教ではない人たちが建てたマリア像に行った。キリスト教ではない人たちでも隠れキリシタンのためにマリア像を建てたことが分かった。

紅岩山荘は木々に囲まれていて森林のにおいがよく温泉は外には湖が見え温度もちょうどよかった。

夜はるきたちいっぱいさわいでいてうるさかった。

7月23日 二日目

アニメ「NARUTO」のキャラクターうちはサスケの誕生日でめちやくちやうれしかった。朝起きたらリキが二階で足音をたてていてうるさかった。恵なきようランドでは一回目はパターゴルフ、二回目は、ギョラシツクラ

ンドに行き、三回目は、キヤメルコースター、四回目はキヤメルコースター、五回目は、ウオーターパレード、六回目はアドベンチャーサファリに行つた後、天界苑ゲートで弁当を食べた。食べた後、七回目のキヤメルコースターに乗った八回目はフアラオの遺産に行つて楽しんで。九回目は、バズーカ砲で十発うって最後に観覧車に乗つて景色を見た。

の後弁当を食べて感想文を書いた。二泊三日のキャンプではいろいろなことがあつてとても楽しかつた。

四年 ヴ ティエン チャン

初日、まずマリアぞうに行きおいのりをしました。次に紅岩さんそうについてまずふとんを置いて終わらせた外で遊んだらおふるへ二度ふるに入つてそして二度目のおふるで事件がおきた。それはタオルがロッカーにはさまつてかぎが開かなくなつてみんなにたのんでフロントの

人をおよんで開いてもらいました。この夜はえい画、ワンピースZを見ました。わたしはくす玉をつくるれんしゅうをしながら見ました。えい画が終わつたらねようと思つたそのとき実和ちゃんが一人でウノをやつていました。へんだから早くしてと言いました。というわけで終わりました。そしてねました。

六年 前田 宗一郎

1日目にべにいわさんそうにいってしようぎをしたりあそんだのがたのしかったです。かわであそんだりおにごっこをしたのもたのしかったです。

えなきようワンダーランドにいった。それでかんらんしやとジェットコースターとかバイキングにのつた。どれもたのしかったです。いちばんたのしかったのはバイキングです。

キャンプファイヤーをしました。バーベキューコンロでやつたけど、げーむができたのしかったです。キャンプファイヤーのげーむのはつびょうでしゃてきをしました。たまをあてるまとあても

三年 加藤 優唯

わたしは、教会のキャンプで、ワンダーランドへ行きました。そして一番さいしよにのりもの、バイキングにのりました。とてもこわく動く前にドキドキハラハラしました。

そしてその後温泉に入つて出た後男子が部屋に入つてが入つたと言つてさわいていたので中に入れず夜おそくなるまでねれなかつた。

7月24日 三日目

朝起きたら意外にみんなしずかでみんなかたづけをしていました。

多治見修道院でミサをやりそ





わたしが一番楽しかったのは、スーパーパスイングです。4回ものりました。スーパーパスイングは、とてもこうそくで回って、2人の横にゆれるちよつとスリルな、のりものです。わたしは、2回目にのつてもうなれて、3回目ぐらいにもう「キヤー！」とさけばなくなつて、4回目にえがおだけで、スーパーパスイングをのりました。

わたしが一番スリルでこわいと思つたのが、バイキングです。のつていて、上に上がった時バイキングを動かす、タイヤが見えて、とてもびつくりして、目をつむつてしまいました。そして、おもいつきり、下がる時にとでもこわくて体中ぞくぞくつとしました。すぐくスリルでした。

とても楽しくスリルですごかったです。またワンダーランドに行けるきかいがあつたらまた行きたいです。



わたしは、ジェットコースターに、なんかいも、のつたよ。たのしかった。ちよつとわかつたよ。ジェットコースター5かいのつたよ。

一年なるい さきこ

中高生会東京巡礼

柿崎 輝彦

合宿では、様々な教会に行くことができました。名古屋とは少し違うところもありました。特に、イグナチオ教会は、興味深かったです。周りより低い祭壇や地下にある納骨堂、ステンドグラスや外形などがあり、それ



2016.7.24 救急法講習会

それに深い意味があるのを学べたのは良かったです。ただし、小金井修道院は特に変わりがなかったのが逆に印象的です（ほぼ想像通り）。

聖書を読む人のための手引き

・神の言葉が命の糧となるために・

(2)



主任司祭 B・ノヴァク神父

2. 神の言葉である聖書

聖書は、いろいろな人が書き記した73冊の書から成り立っています。73冊すべてが聖なる書であること、つまり、本当に聖霊の靈感によって書かれて、神が人間に伝えたいと思われたことを誤りなく伝えていること、は確かなことなのでしょうか。言い換えれば、聖書と呼ばれている本は、本当に神の言葉であるという確信を持つことができるのでしようか。神ご自身がすべての書の著者であること、それを認める証明書を発行されたわけがないですから、誰が、どのように、また、どんな権威を以てそれを決めたのでしょうか。この質問に答える前に、まず、

神のことを知る方法、特に神の自己啓示のことと聖書が形成された過程を説明する必要があります。

神の自己啓示

人間は、神から与えられた理性によって、様々なことを知り、理解することができます。理性のためにこそ、科学の発展とともに、私たちが生きている世界の構成や人間自身の精神や体の仕組みなどの理解が段々とい深まって、技術も高まっています。昔は、誰も想像もしなかったようなことができるようになります。同じ理性のために、人間は、何が正しいか、つまり、どのような行動が人間を生かし、人間の益になるか、ま

た、どのような行動が人間に害を与えるかということ、つまり、道徳的な基準をある程度まで知ることができます。また、世界や人間のことに関する知識に基づいて論理的に考察することによって、存在しているすべてのものの第一原因であり、創造主である存在、すなわち、私たちが見える現実を超えている神が存在しているという結論を出すこともできます。要するに、理性によって人間は、少くとも、神が存在していることと創造主であることを知ることができますという事です（ロマ1・20・23参照）。

けれども、私たちは、理性の力によってのみ神について知ることができないことも知っています。例えば、神は唯一でありながら、父と子と聖霊という三方の一体であること、つまり三位一体の神秘を知っています。実は、このような認識は、神ご

自身の啓示による認識です（カテキズム50参照）。ヘブライ人への手紙の中に次のように書き記されています。「神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました」（ヘブ1・1・2）。神は、自分のことを最初から完全に現してくださったのではなく、良き教育者のように、人間の心の状況や理解力に合わせて、少しずつご自分のことを現してくださいました。神の自己啓示の過程の頂点は、神の御ひとり子であるイエス・キリストなのです。啓示の過程の発展は、聖書の形成の過程の中で見られます。

旧約聖書の形成

神のわざであるすべての被造物そのものは、神の、いわゆる、自然の啓示ですが、神はい

ろいろな自然の現象や出来事を通して、また、人間のいろいろな体験を通して語られるので、神は、アブラハムを召し出してから、彼の生涯の中で、また、彼の子孫から生まれたイスラエルという民族の歴史の中で、特に力強く、特にはっきりとした形で人間にご自分を啓示し、この世界に対するご自分の計画を実現してこられました。

イスラエル人が体験した神の働き、特にエジプトから解放されたことやシナイ山で神と契約を結んだことは、まず数百年の間に口頭で次の世代に伝えられましたが、凡そ紀元前10世紀から、口伝された諸伝承が少しずつ文書化されたのです。紀元前8世紀から6世紀の間、多くの預言者たちが活躍していました。彼らは過去や現在の出来事の中で見出した神のメッセージ、いろいろな教えや注意や導きを宣べたりしていました。こ



の言葉を自ら書き記す預言者も再認識し、それを保ち、次の世に伝えるために、ユダとイスラエル王たちの歴史やいろいろな資料に書き記されていた捕囚前の歴史やエルサレムの物語、また、捕囚時代の物語をまとめたり、必要に応じて文書化した、いろいろな資料や様々な伝承を合併したり、再編集したり、再編集したり、くんだり言葉の意味を変えたりしました。こうして、預言書の作成は、紀元前6世紀までに終わりましたが、モーセ五書は紀元前5世紀に完成されました。その後、ダニエル書やマカバイ記を含めて、いくつかの書が書かれましたが、紀元前1世紀に、旧約聖書の最後の書として、知恵書が書き記されました。要するに、旧約聖書の一番古いの文書が書かれるときまで、千以上がかかったという事になるわけですが、このように非常に長い過程の結果として作成された書が、聖

た。要するに、旧約聖書の一番古いの文書が書かれるときまで、千以上がかかったという事になるわけですが、このように非常に長い過程の結果として作成された書が、聖

司祭団より

大聖堂の漏電等の緊急電気工事が完了しました。水銀灯をLEDに交換して消費電力が大幅に減りました。

ワールドニュースデイに南山教会からの参加した方からの報告が9月4日11時よりマリア館ホールにて行われました。

報告・連絡事項

第9回オルガン管理委員会

7月9日に昨年度の修理予算の内訳報告を行いました。今年度はより細かい点検を10月3日と4日に行う予定です。消耗品の交換なども予算内で行っていきます。

7月10日営繕委員会

大聖堂控室のキッチンの流しの排水について、蟻が詰まっていたようです。現在は解消しています。今後は鍋等を使って蟻を処理して流さないようにします。

マリア館厨房の冷蔵庫の買い替えについて、シャープ製の545リットルの冷蔵庫をノジマオンラインにて購入、価格は2万台計で19万円ほどの購入の承認を諮り承認されました。

第2回大規模修繕プロジェクトの会議の報告が、配布資料に基づき行われました。信徒会館と大聖堂の内装の耐震についてはコンサルタントを入れる必要があります。

鐘樓についての案の説明がされました。建設コンサルタントの依頼について、エアデザインの大住様が、ヨセフ館での実績等もあり信者さんで教会にも理解がある方なので、この方にコンサルタントを依頼する方針が諮られ承認されました。

鐘樓については、過去に地震で壊れたら修繕するという結論が出た経緯があるが、安全性を考えるとその結論を覆して検討することが確認された。

参加者は20名でした。昨年度より減少しました。内容は去年とほぼ同じですが、多少指導の内容に変更がありました。

8月6日、9日…平和の祈り
6日8時予定どおりに行われ、9日10時から40名程の参加者で予定どおり行われました。

8月14日、聖母被昇天祭
8月14日、聖母被昇天祭。来年度は8時のミサ後の案内でお帰りになられる場合は早く車両を出すように促しました。

8月27日、納骨堂管理委員会
3時半から参加者5名で行いました。今までの管理上の懸念が感じました。聖歌隊の避難方法についても課題があります。

死者の月の追悼ミサ11月6日
14時から行いますので、待た。その他様々な意見が出ましたので今後活かしていきます。

7月24日、救急法講習会

ヨセフ館オープンハウスにつ
75歳以上の信徒の方々への参

加確認をしました。約70名の方が参加予定になっています。各担当準備をお願いいたします。

余興として南山小学校のお琴演奏、教会学校からのお祝い、中高生会からのお祝い、小出さんの歌があります。

9月18日、教会美化とBBQ

例年より1カ月早く行います。5月に行った美化と段取りは同じです。雨天の場合は10月16日が予備日です。ゴミの処理について名古屋市外の方でも持ち帰り可能な方がいらっしゃいましたらゴミ袋を持参していただきます。

9月25日、城東ブロックの集い

配布資料に基づき説明がされました。200名ほどの来場を予想しています。司教様と手話の方の駐車場4台の確保をお願いします。

終了後、マリア会主催にてパーティーを行います。

来場者様の中で聴覚障害者の方がいらっしゃいましたら、南山教会の手話の会の方に対応を

お願いいたします。

バザー実行委員会より

今年のガーナダンスのような皆さんで踊れる催しとして、村瀬さんに指導を依頼しました。生徒の皆さんには、アシスタントをお願いします。

バザーの売店に関してはまとまりませんでした。昨年と多少の変更があります。9月24日の土曜日から食券の販売を始めます。目安以降の見込みです。

収益について、毎年どこかに寄付をしています。寄付先が決まっています。寄付先候補がありましたら松浦までご連絡をお願いします。

キャッチフレーズは「よろこびしえ合おうみんないっしょにいっしょの特別聖年」

それぞれの団体が使用している

棚等の整理整頓のお願い

先日、ボクダン神父様を中心となり、結婚式控室と小聖堂の間の納戸にある不要な備品を整理していただき、必要ではある

が、不急の備品は、上の段に置き換えました。簡単な自分たちでできることは自分たちで行い、ヘルプが必要なときは、事務所へ連絡し、助けを求めてください。

なお、棚の管理を行うため内容と管理団体を明記していきたく

作業の際は、安全には十分に気を付けて行いましょう。

各会報告

マリア会

各会報告の後バザーについて話し合いました。バザーの当日マリア会の売店で人手が足りない班があります。当日だけお手伝いで参加ができる方はマリア会メンバーにお伝えください。よろしくお願いたします。

中高生会

7月24日(日)終業式、八事聖霊修道院でSr.上杉のプラグアイ

での宣教体験の話を聞く。3名参加。

7月30日(土)、31日(日)

営繕委員会

8月18日ボクダン神父様と大聖堂および司祭館1階入口前の滑りやすい場所を高圧洗浄いたしました。

典礼委員会

7月3日 布池司教叙階金銀祝ミサで南山教会の信者団が奉仕する。

7月31日 典礼委員会

8月6日(土) 平和の祈り

ミサ(小聖堂8時)

8月9日(火) 平和の祈り

聖体賛美式(小聖堂10時)

8月14日 聖母の被昇天祭

(ルルド前でロザリオ)

8月15日 聖母の被昇天

当日7時、19時大聖堂でミサ

次回は10月2日

南山句会

平成二十八年七月十三日



青信濃浸るがごとき美術館

夕空へ森沸返る蟬時雨

吊橋の背より夕立来たりけり

夕立や心騒がす内緒ごと

召命を生くる尊さパウロ祭

音もなく濡らす雨過ぎ明易し

慎ましく門灯に映ゆ花南天

人柄の涼しと思ふ友来る

衣擦れの音に始まる朝の茶事

地塘へと映る十字架風若葉

美智子

一藤

豊子

光子

せつ子

真喜子

とく子

牧子

公子

義子

毎月第二水曜日午後一時半

マリア館二階集會室

信者の消息

帰天

神の栄光にあずかれますように

8/5 マリア・テレジア 池林 有美子 (67歳)

8/7 トマス・モア 小笠原 貞雄 (98歳)

8/14 マリア・アナスタジア 田中 昌子 (76歳)

受洗

おめでとうございます

7/10 サラ 有本 早良

7/21 マリア・アナスタジア 田中 昌子

8/5 クララ 萩 千恵

8/13 アルバ ルカ マリア

転出

いつまでもお元気で

テクラ 杉本 千加代 (麹町教会)

マリア・グラチア 村田 久美子 (東山教会)

十字架のヨハネ 梅田 靖規 (神戸中央教会)

転入

ようこそ

コーラ・グレイス・ピア・ヴィアード
(上野毛教会)

ミカエル 東納 盛英 (岐阜教会)

マリア 東納 百合子 (岐阜教会)

イグナシオ 上島 雄高 (八王子教会)

セシリア 若子 純子 (瀬戸教会)

アシジのフランシスコ 若子 工真 (瀬戸教会)

教会維持費

7,8月は1,776,298円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2016年9月・10月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
9月	14(水)十字架称賛祝	11(日)聖十字架ミサ(教会の名称の祭日)日英合同ミサ(9:30) 11(日)10:30合同病者塗油の秘跡 11:00敬老会 18(日)教会美化倉庫の整備 BBQ(10月16日予備) 23(金)ボクダン師霊名の祝日	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)11:00 運営委員会 4(日)教会学校・中高生会始業式 11(日)典礼委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	18(日)城東ブロック会議(膳棚) 25(日)城東ブロックの集い(南山)
10月	ロザリオの月 23(日)世界宣教の日	23(日)バザー・日英合同ミサ	2(日)11:00 運営委員会 7(金)マリア会例会(懇談会) 9(日)典礼委員会 9(日)ヨセフ会班長会 15(土)10:30子ども部屋 22(土)要約筆記付きミサ 23(日)侍者集会	10(月)典礼研修会 20(木)司祭の月集 23(日)世界宣教の日(献金)